

横浜市における発注・施工時期の平準化に向けた取組

1 現状

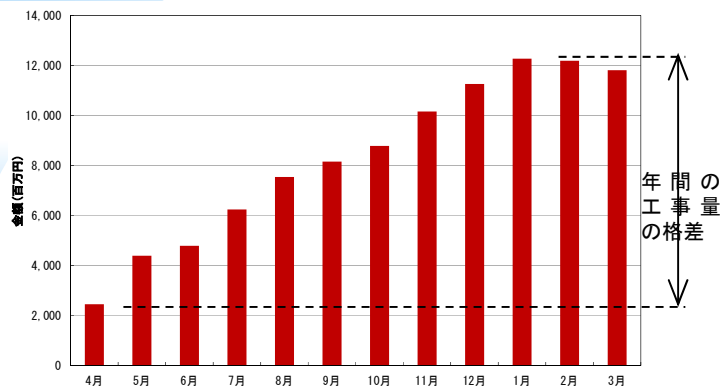
- 従前から早期発注などに取り組んでいる。
- 多くの工事が単年度工期のため、年間の工事量の格差が生じている。



2 取組の方向性

- ① 早期発注
- ② 発注時期の分散
- ③ 年度を跨ぐ工事発注 → **新たに実施する取組**

月毎の工事量推計 平成26年度本市発注工事（3億円未満）



道路修繕工事（舗装補修工事）

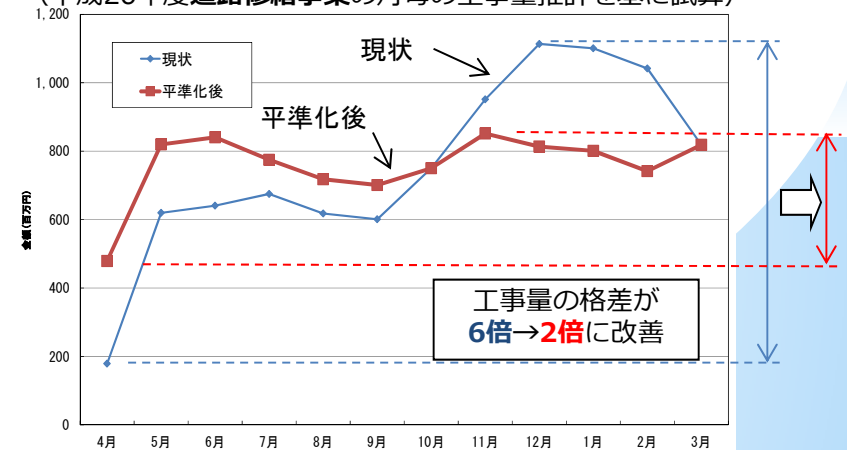
4 取組の効果

道路修繕工事で、工期の分散と債務設定による効果を試算

月毎の工事量格差 約6倍 → 約2倍 に改善

平準化効果のイメージ

(平成26年度道路修繕事業の月毎の工事量推計を基に試算)



3 取組内容

道路修繕工事、学校営繕工事、公共建築物の保全工事などで**債務負担設定**し、**年度を跨ぐ工事**を発注

当初予算で債務負担設定することにより、年度を通じて計画的に工期の分散が図れる。